



日蓮宗 法音寺

法音

今月のご法話

善き行い

令和7年
6月号
No.668

悦可衆心

よい教えを伝えよう
おし つた

今日一日、

人に感謝しましょう

今日一日、

人に親切にしましょう

今日一日、

人を善に導きましょう

月刊・法音 令和7年6月号 No.668 目次

【信仰の指針】安楽 あんらく 心清らかに日々を過ごしましょう 1

善き行い 山首 鈴木正修 2

◆ 講日のご案内 19

◆ 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください 20

◆ 御開山会のお知らせ 22

◆ 仏教漫画『日蓮さま』・38 決意 23

◆ 比企大学三郎能本 31

◆ お寺の本棚 32

◆ 常寂光土への誘い (35) 34

◆ のりのね体験 38

◆ 支院だより 40

◆ 福祉のひろば 67

○ 幸せのお手伝い 68

○ 特別養護老人ホーム高浜安立荘・ちんどん屋さんがやってきました！ 70

○ 日本福祉大学・東海キャンパス拡張工事 安全祈願祭を執り行いました 72

◆ 賛助員ご芳名 74

◆ 幸せの種まき／編集後記 76

◆ 連載まんが・ひまわり 149 キミがいてくれて… 77

◆ 法音寺の社会福祉・教育事業 78

掲載写真 表紙・信仰の指針 3頁・19頁…梅田雅臣氏撮影

2頁…加納将人氏撮影

表紙写真・ツツジ

信仰の指針

安楽

あ ん ら く

心清らかに日々を

過ごしましょう

日教五





朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

善よき行おこない

私達わたしたちは誰だれもが幸しあせを求もとめています。お釈迦しやかさまは、王子おうじの生活せいかつを投げ捨すてて苦行生活くぎうせいかつに入はいられました。これは幸しあせを捨すてられたような印象いんしやうがあるかもしれませんが、それは違ちがいます。お釈迦しやかさまは不変ふへんの幸しあせを求もとめて修行しゆぎやうに入り、真理しんりを悟さとって、本当ほんとうの幸しあせを体得たいとくされたのです。それを多おほくの人ひとに広め、真摯しんしに実行じつこうすることを勧めすすめられたのです。それが菩薩行ぼさぎやうです。

古代ギリシアの哲学者てつがくしや、アリストテレスもその著書ちよしよの中なかで言いっています。

「我々われわれの達成たっせいせんとするあらゆる善よきものの中なかの最上さいじやうのもの



のは何なんであろうか。その名目めいもくについては、大概たいがいの人の答こたえはほぼ一致いっちする。すなわち、一般いっぱんの人々ひとびとも、たしなみある人々ひとびとも、それは幸福こうふくにほかならないのである。だが、ひとたび幸福こうふくとは何なんであるかという点てんになると、人々ひとびとは互たがいにその見解けんかいを異ことにしている」

そして、アリストテレスは、快樂かいらくの生活せいかつを吟味ぎんみし、蓄財ちくざいの生活せいかつを吟味ぎんみし、また名誉めいよある生活せいかつを吟味ぎんみし、結局けっきょくそれらが最上さいじょうのものでも、究竟きゅうきようのものでもないことを明あきらかにして、結論けつろんとして、「真しんの幸福こうふくとは徳とくを身みにつけるべく日々行動こうどうし、徳とくに満みちた人生じんせいを生いきることである」としています。お釈迦しゃかさまの教えおしと相似そうじしています。

以前いぜん、月刊誌げっかんし『PHP』で『わたしの幸福論こうふくろん』という特とく



集しゅうがありました。その中なかに『ゲゲゲの鬼太郎きたろう』の作者さくしやとして有名な水木みずきしげるさんが登場とうじようされ、「《幸せしあわせ》なんていう言葉ことばはない方がいい」と言いっていました。

水木みずきさんは戦争せんそう中に徴兵ちようへいされ、ニューブリテン島とうのラバウルおくへ送おくられ、そこでマリアに雇かかりました。すぐに野戦やせん病院びやういんに収容しゅうようされたのですが、運悪うんわるく、その病院びやういんが爆撃ばくげきを受け、左腕ひだりうでをなくしてしまいました。片腕かたうでを失うしなった水木みずきさんは完全かんぜんに前線ぜんせんから後退こうたいし、島民とうみん達との長閑のどかな生活せいかつが始はじまりました。そこにはトライ族ぞくという部族ぶぞくがいました。彼らかれは水木みずきさんに非常ひじように親切しんせつでした。水木みずきさんはトライ族ぞくとすぐに仲良なかよくなり、彼らかれの自然しぜんな暮らくしぶりに感心かんしんしました。また、親子おやこの愛情あいじよう、友人ゆうじんに対すたいる思いおもやり、隣人りんじんに対すたいる振る舞ふいを見るみにつけ、彼らかれの日常にちじようの暮らくしの中なかには、空くう



氣のように「幸せ」が充滿しているのを感じました。

水木さんは言います。

「おそらく彼らの生活の中には《幸せ》という言葉はないだろう。我々日本人の生活には《幸せ》という言葉がよくでてくる。また、みんなが《幸せ》を求め、『もっと幸せになりたい』と叫び、人生をいじくり回す。これがいけない。自然の流れに身を委ねて、トライ族のように生きた方がいい。《幸せ》なんていう言葉はない方がいいんだ」

そんな水木さんですが、その著書『水木サンの幸福論』の中で、長年世界中の幸福な人と不幸な人を観察してきて、見つけた幸福になるための条件を書いています。

「第一に他人と比べない、競わない。他人と比較するから幸せだとか、不幸せだとか、もっと幸せになりた



いぐとなる。だから比べてはいけない。人生の成功とか栄
誉とか、勝ち負けとかを目的としてはいけない。そういう
ものを得られたら幸せとか、得られなかったら不幸せとか
は関係ない。とにかく毎日愉快に生きた方がいい。愉快か、
愉快じゃないかは自分の心が決める。だから愉快に生きた
方がいい」

また、水木さんは『ゲゲゲの鬼太郎』の作者だけあって、
「目に見えない世界を尊び、目に見えない世界を信じた方
がいい」と言います。「幽玄な世界、神秘的な世界、そう
いう目に見えない何か別の世界があるということを信じた
方が幸せになれる」と言うのです。

水木さんはドイツの文豪・ゲーテが大好きです。ラバウ
ルに文庫本の『ゲーテとの対話』を隠して持って行ったほ



どです。ゲートに関する本も書いています。『水木サンの幸福論』の中からゲートの言葉を一つ紹介します。

「人はなぜいつも遠くへばかり行こうとするのか。見よ、良きものは身近にあるのを。ただ幸福のつかみ方を学べばよいのだ。幸せはいつも目の前にあるのだ」

水木さんは、この言葉が大好きだそうです。

戦争中に南洋諸島にはラバウル以外にも日本の基地がいくつかありました。ウルシー環礁の中のフェダライという小さな島もその一つです。戦後、マーシャル・ポール・ウィーズというアメリカ人医師が、そこに調査のために赴任しました。

このマーシャル・ポール・ウィーズ氏がフェダライ島で



数カ月過ぎたところ、「まさに平和な理想郷だった」と報告しています。

「この島には一人の賢明で、優しい王さまがいて、何事によらず島民の相談相手になっていた。また、この島では子ども一人でも死ぬと島中の人が集まってその死を悼んだ。島は二つの村に分かれていたが、二つの村は大変仲が良く、漁業の収穫や農作物もいつも多い方が少ない方に分け与えていた。島民は皆、心穏やかで上品で、口喧嘩などをするところを見たことがなかった。また驚くべきことに私が数カ月間、医療その他のことに努力する姿を見て、王さまが『あなたに王位を譲ろう』と言ってきた。理由を聞くと王さまは『理由は簡単だ。自分よりあなたの方が賢人なのだから、あなたに王位を譲るのは当然だ』と言うのだ。総じ



て、島民の心には妬みや恨みや争う心、悪意が全くなく、
万事が極めて善意で運ばれていた。まさに神の御心に沿っ
たような生活であった」

ここで、天界の巨人と言われるエマニエル・スウエー
デンボルグを紹介したいと思います。スウエーデンボルグ
は「北欧のアリストテレス」また「レオナルド・ダ・ヴィ
ンチを凌ぐ巨人」などと称され、かつてドイツの大哲学者
イマヌエル・カントや、国際的禅学者・鈴木大拙等が賞賛
し傾倒した、18世紀スウエーデンの不世出の天才科学者で
す。彼は9カ国語を駆使し、150冊以上の著作をものし、
20もの学問分野を極め、数々の先駆的発見を成し遂げまし
た。そんな彼が、ある日突然もう一つの世界に招き入れら

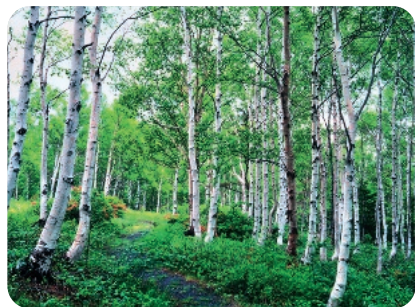


れました。そこで無数の迷える霊が蠢く地獄、天使達が奉仕する天国の光景を眼前にしたスウェーデンボルグは、それより以後の生涯（約三十年間）のすべてをこの霊界と、それを支配する聖なる摂理の探求に捧げました。

この大科学者は生きながらにして、あの世のすべてを見てきたのです。

極稀に「死後の世界に行って帰ってきた」と言う人がいます。「臨死体験」と言われるものです。魂が一旦肉体を離れることを「幽体離脱」と言いますが、スウェーデンボルグは、不思議な人物（霊界からの使者）に出会ったことをきっかけに、自由自在に幽体離脱をしてあの世に行けるようになったと言います。

その人物は「汝、あまり食を過ごすなかれ」と告げた後、



「我、汝を人間死後の世界、霊の世界へ伴わん。汝、そこにて霊達と交わり、その世界にて見聞きたるところをありのままに記し、世の人々に伝えよ」と言いました。いくら大科学者の話であってもこのようなことは誰も信じません。そのため、スウェーデンボルグは人々の目の前でその証拠を見せました。

次の話は大哲学者カントが調査して、間違いなしと認めた事例です。

ある時、ストックホルム駐在のオランダ大使が亡くなり、その夫人がスウェーデンボルグに相談に来ました。

「主人に生前、銀細工の高価な食器をプレゼントされました。主人は堅い人だから、ちゃんと生前お金を払っているはずなのに、細工職人が代金を請求してきました。領収書



があるはずですから、あの世よにいる主人しゅじんに、そのありかを聞いてきて欲しいのです」

スウェーデンボルグは幽体離脱ゆうたいりだつをして三日間あの世よに行き、大使たいしに会あいました。その後あと、多くの見物者けんぶつしゃを前まえにして、その夫人ふじんに言いいました。

「聞きいてきましたよ。ちゃんとご主人しゅじんは七カ月前げつまえに払はらっているそうです。領収書りょうしゅうしょもあるそうです。今いまからその領収書りょうしゅうしょを探さがしに行いきましょう」

スウェーデンボルグは、その夫人ふじんと見物者達けんぶつしゃたちを伴ともなって2階かいに行いきます。

「大きな机つくえの左ひだりの抽斗ひきだしの二重底じゅうぞこのところに領収書りょうしゅうしょがあるそうです」

実際に抽斗ひきだしを開あけて、その板いたを外はずすと領収書りょうしゅうしょがあったそ



うです。

このような事例がほかにもたくさんあります。

スウェーデンボルグは「靈界とこの世は一つの世界だ」と言います。そして「靈界にも太陽があり、我々と同じようにそれが靈達の生命の源になっている」と言います。靈界の太陽の光は天国には多く注がれ、地獄にはほとんど届かず、地獄は暗く、じめじめとして腐臭のするところだそうです。地獄に行くのは我々が想像する通り、強欲な者、権力の亡者、犯罪者などですが、「彼らは好んで地獄に行くのだ」とスウェーデンボルグは言います。

「私は靈界で乞食の集団を見たことがある。彼らは皆人間だった時に労働を嫌い、乞食をしていた者達で、靈界でも怠惰な生活をしたがっていた。しかし靈界はそんな怠け心



を満足まんぞくさせてくれるところではない。上位じょういの天国てんごく（天国てんごくにも地獄じごくにも三段階だんかいの階層かいそうがあるそうです）の霊れいになればなるほど、霊界全体れいかいぜんたいのために役に立つ何らかの役割やくわりを忙いそしく果たはしているのが霊界れいかいである。だから怠なまけ心が染しみみついた乞食達こじきたちは、働はたらくことを嫌きらって地獄じごくの方ほうへ行くのである」

少々前置きしょうしょうまえおが長ながくなりましたが、スウェーデンボルグが最上さいじょうの天国てんごくに行いった時ときの話はなしです。

「私わたくしは霊界れいかいでいろいろな天国てんごくを見てきたが、特とくに印象いんしやうに残のこっているのは、人間にんげんの時ときに素朴そぼくで無学むがくだったが、心こころの素直すなおな者ものの天国てんごくである。彼らかれは最上位さいじょういの天国てんごくにいたのである。わたしはある時とき、未開民族みかいみんぞくの霊達れいたちが集あつまっている天国てんごくに行いったことがある。そこで彼らかれと《信しんと善行ぜんこう》について議論ぎろんした。



彼らが言っていたことで、一番強く記憶に残っているのは、
彼らが盛んに強調したことで、『隣人に対して愛情深く接
しよ』ということだ。彼らが言う《信》とは、天の理（※
菩薩行）の本質を理解するということなのだが、信ずるだ
けではまだ知性のレベルなのだ。それは次に意思の中に流
れ入って、『善き行い』という行動になって初めて本当の
本物になる。彼らはこのことをちゃんと理解していて、そ
れを《隣人に対する愛情》と表現したのだ。彼らは人間だ
った時から単純明快にそういう生き方をしていた人間だっ
たのだ。もう一つ無学だが素直な者達の集まった天国、そ
こで彼らはその姿も美しく輝いていた。私がここで最も印
象に残ったのは、外面のものがきれいに拭い去られ、最高
のレベルの霊に導かれて彼らが暮らしていたことだ。彼ら



は人間^{にんげん}だった時^{とき}には、無学^{むがく}だったとはいえ、この時^{とき}は有名^{ゆうめい}な学者^{がくしゃ}などよりよほど高い知恵^{ちえ}に満ちていたのである。霊^{れい}的な世界^{せかい}の知恵^{ちえ}は、この世^よの外面的^{がいめんでき}な記憶^{きおく}などからする知恵^{ちえ}（学者^{がくしゃ}の知恵^{ちえ}はほとんどこのレベルの知恵^{ちえ}に過ぎない）とスウェーデンボルグは言^いいます）とは根本^{こんぽんてき}的に性質^{せいしつ}もレベルも違^{ちが}うものだから、これも当然^{とうぜん}であろう。未開^{みかい}民族^{みんぞく}や無学^{むがく}だが素直^{すなお}な人間^{にんげん}の霊^{れい}が容易^{ようい}に最上^{さいじょう}の天国^{てんごく}に行^いけたのは、彼^{かれ}らが人間^{にんげん}だった時^{とき}に、よくその内面^{ないめん}を耕^{たがや}していたからだ。その内面^{ないめん}を耕^{たがや}すのに必要^{ひつよう}なのが《善^よき行^{おこな}い》ということだ。これは善^{ぜん}を知^しって行^{こうどう}動^{どう}するということにほかならない。単^{たん}に《信^{しん}》があるだけでは内面^{ないめん}は十分^{じゅうぶん}には耕^{たがや}されない。その《信^{しん}》が意^い思^しに流^{なが}れ入^いって、《善^よき行^{おこな}い》という行^{こうい}為^いになっ^なって初^{はじ}めて良^よく効^{こう}果^かを發^{はつ}揮^きするのだ。人間^{にんげん}は本来^{ほんらい}



天国てんごくに行けるべき性質せいしつを誰だれでも持つているものだ。私はこ
れを『天界てんかいの種子しゆし』と呼よんでいる。人間にんげんである時ときにその内
面めんを深く耕たがやしてその種子しゆしを成長せいちようさせることが大事だいじである」

最後さいごのところは私達わたくしたちが聞きいている「仏性ぶつしょうの開顕かいけん」という
ことと同じだと思おもいます。天国てんごくや浄土じやうどに行くには、素直すなおに
お題目だいもくをお唱となえし、慈悲じひ・至誠まこと・堪忍かんにんの実行じっこうを日々続つづけて
いく以外いがいに道みちはないと思おもいます。お互たがいに精進しょうじんいたしまし
よう。



良い教えの話を聞きましょう。

全国の法音寺各支院・布教所では
毎月の講日の中で

三徳の教えを聞くことができます。

是非講日にご参詣いただき
教えを心にしみ込ませましょう。

◆ 今月の山首上人さまのご親修日程

郡上八幡支院	6月8日(日)	開基堂	6月10日(火)
神戸支院	6月14日(土)	豊川支院	6月21日(土)
一宮支院	6月25日(水)		

有縁の支院・布教所に、ご自由にござ参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乗山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	8日・21日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市城之崎4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・21日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	8日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・26日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825
佐屋支院	4日・8日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0586)72-7208
一宮支院	5日・14日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0568)22-5813
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(058)245-2939
岐阜支院	4日・14日・18日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)391-9733
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(0584)78-4854
大垣支院	1日・11日・22日	大垣市宝和町5	☎(0575)22-0776
関支院	14日・22日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)23-3771
平賀支院	1日・15日・22日	関市市平賀213-2	☎(0575)65-3933
郡上八幡支院	8日・22日	郡上市八幡町小野721-3	☎(059)352-3633
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(0595)21-0127
上野支院	2日・11日・21日	伊賀市上野向島町3475	

☎(0567)32-1825
ご連絡は本山事務局へ

京都支院	2日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	2日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	8日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
和泉支院	21日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(072)466-3112
神戸支院	14日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)421-0175
岡山支院	8日・23日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	8日・14日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	14日・22日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)62-5087
安芸津支院	7日・15日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)45-4012
坂支院	8日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	1日・7日・15日・16日・28日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1112	☎(0920)44-5445
筑後布教所	8日・22日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)53-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)58-0742
田川支院	8日・29日	田川市春日町7-30	☎(0947)42-1819
名古屋地区	7日・17日・27日	名古屋市長和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・26日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)85-6860
亀岡布教所	9日・22日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)25-7807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)

令和7年5月25日

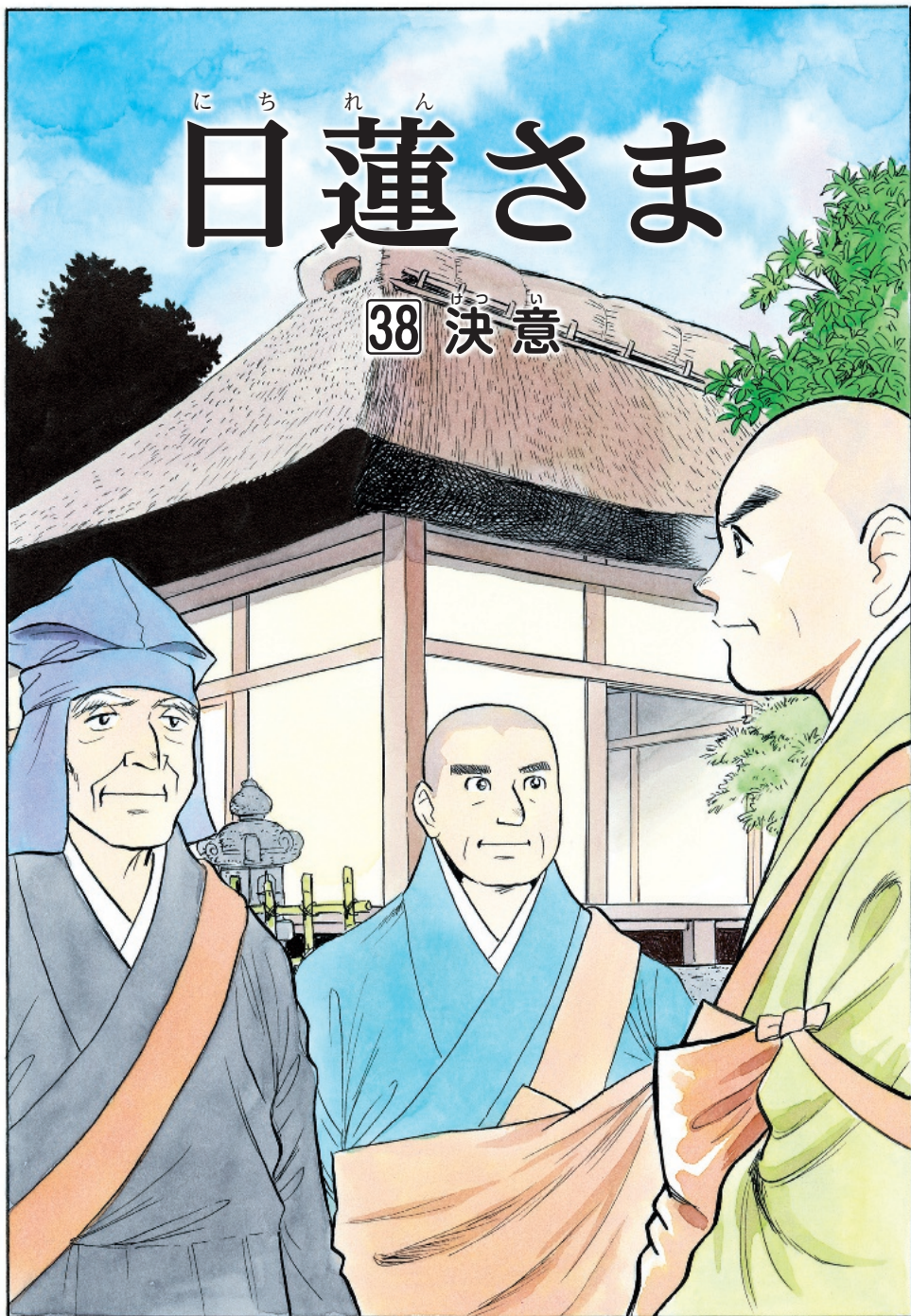
6月1日・15日

御開山会

大乘山
法音寺

に ち れ ん
日蓮さま

38 けつ い 決意



夷堂橋 庵室

お師匠さま
大学三郎能本さまが
いらつしやいました

日蓮さま
よく無事で
お戻りになりました

再びお目にかかれて
大変うれしく
思います

私の方こそいろいろ
御尽力いただき
どんなに心強かったことか

日蓮さまがお留守の間
ずっと考えておりました

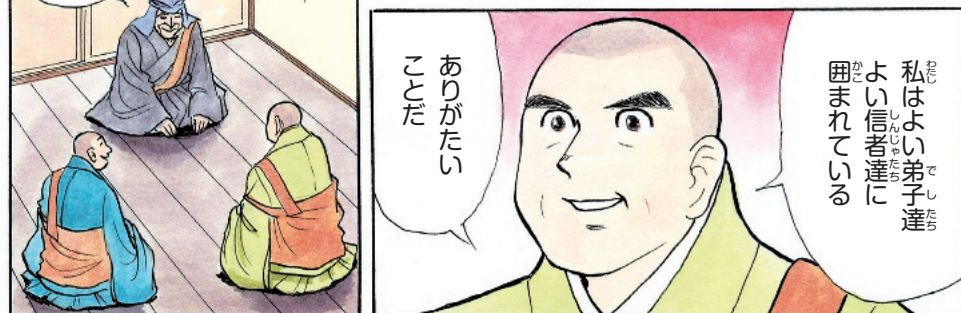
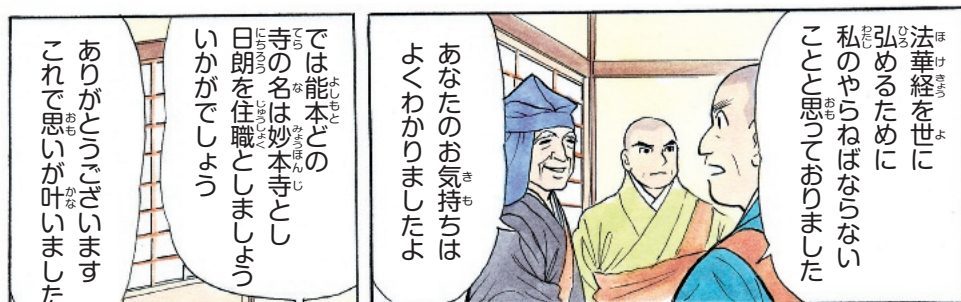
人間は愚かてたよりない身
環境が変わることで
法華経への信仰が揺らぐ
ことのないように心を
決めておく必要があります

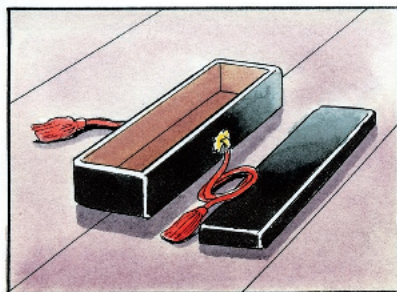
そこでぜひ剃髪して
自分の法華経への信念を
ゆるぎないものにしたのです

私の母も私の考えに
賛同してくれました

私の家は寺に
母の名をとり妙本寺と
名づけたかと思えます
よろしいでしょうか



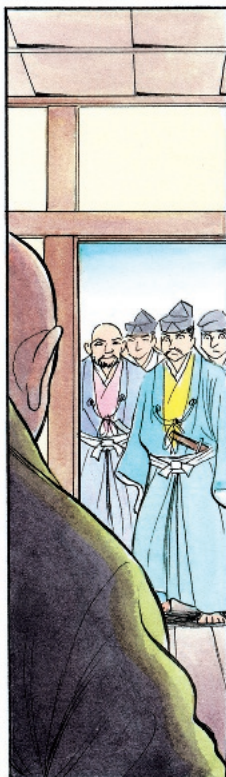




執権 北条時宗様
からの書状をお持ち
しました



法華経はすばらしい教えであり
ほかのどの宗派よりも優れている
したがって法華経を
弘めることは妨げない





山に……
かくれる？

まだどこかへ
行っておしまいにな
るのですか

ずっと
ここにいて
くださいませ

お上人さま
鎌倉にお戻りに
なったばかりでは
ありませんか

ありがとうございます
皆さんのお気持ちは
とてもうれしく思うが
もう決めたことです

お釈迦さまが靈鷲山に
行かれたように 私は身延の
山へ行くことにします



お上人さまあ

もうどこにも
行かないで
くださいませ



つつく

比企大学三郎能本

妙本寺は、日蓮聖人を開山に仰ぐ、日蓮宗最古の寺院です。開基は、比企能員の末子で、順徳天皇に仕えた儒学者・比企大学三郎能本です。

この地は比企能員一族が住む谷戸やとであったところから「比企谷ひきがや」と呼ばれています。しかし、比企一族は建仁3年（1203年）に権力保持を目論む北条一族によって滅ぼされました。その争いを「比企の乱」と言います。

比企の乱の時、まだ幼少で京都にいたため生き延びたのが比企大学三郎能本でした。能本は、鎌倉の町に立って生命がけの布教をされている日蓮聖人に会い、「わが一族の菩提を弔ってくださるのは、このお上人しかない！」と決心し、自分の屋敷を日蓮聖人に献上したのが妙本寺の始まりです。

日蓮聖人は、文応元年（1260年）比企能本の父・能員と母に「長興」「妙本」の法号をそれぞれ授与し、この寺を「長興山妙本寺」と名付けられました。

第二祖は日朗上人、第三祖日輪上人を迎え、以来妙本寺と池上本門寺は一人の貫首が両山を統括する（両山一首）という方式が第74世 酒井日慎上人の代まで（昭和16年まで）続きましたが、第75世 島田日雅上人の代より専任の貫首を迎えることになりました。



（写真・本文は妙本寺公式サイトより）



お寺の本棚



『大白牛車・堪忍読本』

「慈・悲・喜・捨」が

法音寺の堪忍

大白牛車
・堪忍読本

目録に付したお祈り文、巻のうしろに、巻のうしろに、巻のうしろに

堪忍は、狭い心ではできません。そこで、どうすれば広い心になれるかということですが、そのために「慈・悲・喜・捨」の「四無量心」が教えられています。

「慈」は慈しみであります、そのものは「悲」にあります。つまり、相手の人に対する思いやりの心です。

それに対する行いが「慈」であります。自分のできることで相手の人を喜ばせ、力づけていくことです。

「喜」は喜びです。相手の喜びを、素直に喜んであげることです。

何でもないことのようにですが、なかなかできにくいことです。言葉では簡単ですが、心が伴



われないことが多いのです。また、言葉と心が反対ということも結構多いものです。

「捨」は、文字通り「捨てる」ことです。

子どもを苦勞して育てても、はたして老後の面倒を見てくれるだろうか」と心配される方があります。しかし考えてみれば、親は、子どもを育てることによって、苦勞以上に充分楽しませてもらった筈です。それでもう充分「ありがたいことであつた」と喜ばなければなりません。子どもが老後の世話をしてくれるかどうか……というようなことは、全く付録と考えていくのです。

「お前のためにこうしてやった。ああしてやった。だから面倒を見ろ」と言うのは「捨」の心のない姿です。

堪忍を破ると徳は燃えてしまいましたが、こうしてやった。ああしてやった」と、してきたことを恩に着せると、それも徳を消してしまうことになるのです。あたかも氷が溶けてなくなるように、功德を消してしまうのです。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

常寂光土への誘い (35)

無量義經十功德品第三

善男子、第十に是の經の不可思議の功德力とは、若し善男子・善女人、若しは仏の在世若しは滅度の後に、若し是の經を得て大歡喜を發し、希有の心を生じ、既に自ら受持し誦誦し書寫し供養し説の如く修行し、復能く広く在家出家の人を勧めて、受持し誦誦し書寫し供養し解説し、法の如く修行せしめん。既に余人をして是の經を修行せしむる力の故に、得道・得果せんこと、皆是の善男子・善女人の慈心をもつて勤るに化する力に由るが故に、是の善男子・善女人は即ち是の身において便ち無量の諸の陀羅尼門を逮得せん。

「善男子よ、第十に是の經の不可思議の功德力とは…」

《第十、登地不思議力》

仏さまのご在世中でもご入滅の後でも、この經を得て大歡喜し、未だかつてないように「ありがたい」と感じて自ら受持し、誦誦し、書寫し、供養し、説の如く修行し、また、広く在家出家の人を勧めて、その人々に受持し、誦誦し、書寫し、供養し、解説し、教えの通りに修行せしめるならば、そのことがもたになって、勧めた人もともに徳が進み「余人をして是の經を修行せしむる力の故に、得道・得果せん」で、

人は皆それぞれ、大きな覚りが得られるようになるのです。それは、善男子・善女人が「どうかして人々を救いたい」という慈悲の心をもって一生懸命教化をしたためであります。

「是の身において便ち無量の諸の陀羅尼門を逮得せん」 教化した人は、自分も善いことをして悪いことを止め、人々を感化して共々に善を行ったことにより、偉大な力を得たというのであります。

凡夫地において、自然に初めの時に能く無数阿僧祇の弘誓大願を発し、深く能く一切衆生を救わんことを発し、大悲を成就し、広く能く衆の苦を抜き、厚く善根を集めて一切を饒益せん。

「凡夫地において、自然に初めの時に能く無数阿僧祇の弘誓大願を発し」 Ⅱまだ凡夫の境界を離れていない時から仏さまのみ教えを弘め、人々を救おうという大きな願いを発していたということです。そうして「大悲を成就し」 Ⅱ苦しみ、悩んでいる人々の姿を気の毒に思っ「広く能く衆の苦を抜き、厚く善根を集めて一切を饒益」するために、大勢の人々の苦しみを根本から除き、人々を慈しむ大きな心を磨いて、より一層人々に利益を与えることができていくのであります。

「弘誓大願」とあります。これは「四弘誓願」のことです。あらゆる仏・菩薩が発する衆生済度のための四種の誓いであります〔四弘誓願。卷三・妙法蓮華経第五章薬草喻品一二・七頁〕。

一 衆生無辺誓願度 Ⅱこの世の中、人間は数限りないほどいますが、それを皆救うという誓願です。

二、煩惱無数誓願断 Ⅱ人の世に煩惱は数限りなくありますが、その煩惱をことごとく断ち切るという誓

願です。

三、法門無尽誓願知^{ほうもんむじんせいがんち}。仏さまのみ教えは尽きることがないほどありますが、それを皆学んでしまおうとする誓願です。これは、仏さまのご精神を知ろうとすることであります。

四、仏道無上誓願成^{ぶつどうむじやうせいがんじやう}。二「仏に成る道」はこの上もなく尊く、高いものであつて、今の自分には及びもつかないことではありますが、努力を重ねて仏に成ろうとする誓願であります。

而して法の沢を演べて洪いに枯涸に潤し、能く法の薬を以て諸の衆生に施し、一切を安^{しやう}
^{らうく}樂し、漸見超登して法雲地に住せん。恩沢普く潤し慈被すること外なく、苦の衆生を摂^{せつ}
て道跡に入らしめん。是の故に此の人は、久しからずして阿耨多羅三藐三菩提を成ずるこ^{どうしやくへいしやくめん}
とを得ん。善男子、是れを是の經の第十の功德不思議の力と名く。

そうして、み教えの水を広く行き渡らせて、枯涸した人々の心を潤し、み教えの薬を人々に施し、すべてを安らかにしようとするうちに、自分の覚りも高められ、ついに菩薩修行の十・法雲地に達することができるのです。

仏さまのみ教えという水を、枯れた物にかけて潤してあげるように、正しいみ教えという薬を人々に施し、安楽な境界に、そして覚りを得るように導くことが大切です。そうすれば「法雲地に住す」と言つて、菩薩としての一番上の境界に到り、一切の人を救うことができるのであります。

「恩沢おんたくあね普く潤し慈被じひすること外ほかなく」 〓 その恩は広く世を潤し、慈悲の心で温かく包んで苦しんでいる人を導き、「道跡どうしよ」つまり、仏さまの歩いていらっしゃる道に近くなるまで導いてあげるので。そのように人々のために力を尽くしますので、やがて仏の智慧を成就することができなのです。それが、「是の経を修行する第十の功德不思議の力である」と言われているのであります。

〔法華三部経略義 卷一・一二八頁〕

福祉の ひろば



幸せのお手伝い

いつも笑顔で

接します

Kさんとの出会い

昭徳会に入職して十一年。私が、福祉の仕事に携わるきっかけを与えてくれたのは、ある一人の利用者さんとの出会いでした。

私は、もともと福祉に関心や興味があったわけではなく、大学の専攻はスポーツ科でした。ある日、転職を考えて求人サイトを見ていたところ、泰山寮の求人ページに笑顔で写っている利用者さんの写真が載っていました。私は、この写真を見た瞬間に「ビビビッ」と言葉にできない何か特別なものを感じ、面接を受け昭徳会に入職しました。

そして、担当となった三人の利用者さんのうち、なんとお一人が、あの求人ページで見たKさんだったのです。Kさんは、障がい特性の一つとして「こだわりが強く、靴下を履くのにルーティンがあり、いつもとても時間がかかっていました。長い時では、一時間かかることもありました。私は、困ってしまい「どうしたら早く履いてもらえるのだろう」と悩んでいました。ある夜勤明けの日、そのこだわりによってKさんが朝食の時間に間に合わないことがありました。時間が過ぎてしまい焦りましたが、私はあえて声は掛けずに隣に座って笑顔でそっと見守りました。すると、靴下を履

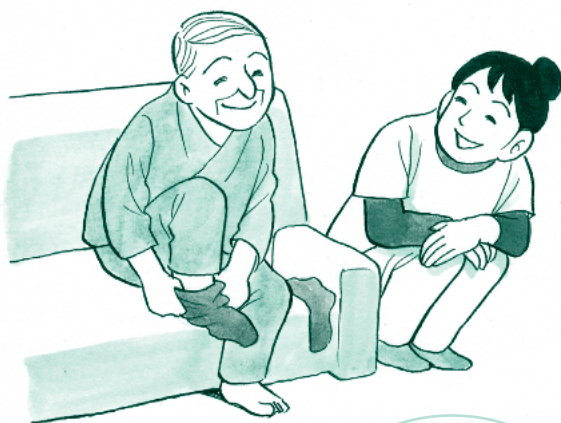
き終わったKさんは、笑顔で私を見てくれました。それは、私があの時に心ひかれた素敵なKさんの笑顔でした。そして、日々同じルーティンで物事を行ったり、ご自分のこだわりで物事をやり遂げたりすることで、安心感を得ているのだと感じました。この経験から、焦らずに関わることの重要性を学び、笑顔の大切さにも気づきました。

昭徳会の職員行動指針の第一条に、「いつも笑顔で接します」とあります。周りの人の笑顔を引き出すためには、まずは自分が笑顔でいることが大切だと感じました。以来、出勤時には必ず利用者さんや職員に笑顔で挨拶をし、元気で明るい一日をスタートさせるようにしています。

Kさんと出会ってから11年、今支援している利用者さんに「あなたに出会えてよかった」と思ってもらえるような生活支援員をめざして、これか

らも頑張っていきたいと思います。

泰山寮 生活支援員 末原 綾乃



高浜安立荘にちんどん屋さんがやってきた!



写真提供・昭徳会

特別養護老人ホーム 高浜安立荘
～『昭和会』でご利用者もご家族も職員もはっぴい!～

昭徳会人事部では、採用活動の一環として各施設の魅力的な取り組みを取材し、SNSなどで紹介しています。今回、高浜安立荘の職員より「4月29日に、昭和の日にちなんで『昭和会』を開催します」と情報提供があり、取材に行きました。高浜安立荘では、利用者さんに喜んでいただくよう介護員が企画を立て、定期的にグループでのイベントやおやつ会を実施しています。今回はご家族も招いた大きなイベントでした。

ご家族をお誘いしたイベントとあって、会場には多くの方が集い、賑やかで活気のある雰囲気でした。壁や天井は昭和の懐かしい雰囲気を感じる飾りや手作りの可愛らしい装飾で彩られ、法被を着た職員がおやつを配っていました。今回のおやつは利用者さんお一人おひとりに



好きな駄菓子を選んでいただく、駄菓子屋さんスタイル。普段とは違う提供方法に、皆さん好きなお菓子を選んでご満悦のようでした。

昭和会は盛り上げ隊長である施設長のご挨拶でスタート。その後「チンチンッ！ドンドント！ピーヒャララッ！」と愉快な音を鳴らしながらちんどん屋さんが登場。利用者さんとご家族の間を練り歩き、会場が一気に陽気なムードに包まれました。利用者さんの中には、手をたたいてリズムをとったり、一緒に歌ったり、腕を大きく上げて踊っている方も。演奏のほか、紙芝居も披露され、「懐かしい」というお声も上がりました。特に感情の込められた迫力ある語りに、皆さん聞き入っておられました。何より職員の皆さま



んが楽しそうで、笑顔をたくさん見られたことをとてもうれしく感じました。昭徳会の基本理念でもある「幸福」は、利用者さんだけでなく、昭徳会で働く職員一人ひとりが「幸福」であることも含まれます。高浜安立荘だけでなく、各々の施設で利用者さんや子ども達、ご家族、地域の方々に喜んでいただくために職員がみんな企画を考え、イベントや行事を実施しています。

人事部としては、施設の楽しい取り組みや日々奮闘する職員の様子を発信し、採用活動にもつなげていきたいと思っています。昭徳会のインスタグラムを日々更新しています。ぜひフォローしていただき、今後も昭徳会の活躍を見守っていただきますと幸いです。

法人本部事務局 人事部 グループリーダー 小林 美奈

昭徳会Instagram



東海キャンパス拡張工事

安全祈願祭を執り行いました

～日本福祉大学東海キャンパス～

本学は「学園創立70周年記念事業」の一環として、現在の東海キャンパスの拡張・新棟建設事業を進めており、4月8日にその建設工事の安全祈願祭を執り行いました。建設地は、「東海太田川駅西土地区画整理事業」区域の一角（現在の東海キャンパスの西側）で、2027年4月1日から、新棟には美浜キャンパスから移転する社会福祉学部を含めた多くの学生が学ぶ予定です。



写真左：現在の東海キャンパス 写真中央：新棟完成イメージ

るキャンパス』。これには、一大学のキャンパス拡張の次元を超えて、国際的な学術研究交流の都市を創造するというコミュニティ建設推進の意匠を込めています。ぜひ、地域のアカデミックコミュニティかつ地域課題解決のカルチャーセンターとして住民の皆さまのご期待に應えらるとともに、我が国において間違いなく異彩を放つシンボルの存在になるよう願っています」と発注者を代表して挨拶しました



焼香後、原田正樹学長が工事の安全を祈念して、お下がりの発声の音頭をとりました。



「初めの儀」では出席者を代表し、丸山悟理事長、鈴木正修学園長、原田正樹学長が斎鐘を持ち、草を3度刈りました。

た。

次に、来賓を代表して花田勝重
東海市長より、「新校舎は現キャンパスと非常に調和のとれた、この地域のこれからのランドマークとなるようなすばらしい施設になると感じました。これから太田川駅西地区には、キャンパスをはじめ商業施設、大型物流施設、マンション・ホテル等の建設が予定されています。市民の皆さまと学生さんの交流、出合いの場になるだけでなく、文化や健康・防災にも寄与し、より多くの方が『ともにつながり 笑顔と希望あふれるまち とうかい』を実感できるようなまちづくりを進めていきたいです」とご祝辞をいただきました。

最後に、施工者を代表して、渡津弘己（株）鴻池組



代表取締役社長より、「学園創立70周年記念事業の環境で新設するキャンパスの施工に携わることができ、大変光栄に思っています。この建物が、人と人の出会いや新たな価値の『創造』につながり、通学される学生さんをはじめ、東海市民の皆さまのトレードマークになるよう、安全・安心を第一に情熱を持って施工してまいります」とご挨拶をいただきました。

東海キャンパス新棟は2027年4月のオープンに向けて工事が始まっており、この度『東海キャンパス拡張事業特設サイト』を公開しました。随時情報を更新していきますので、ぜひご確認ください。

東海準備事務局 浅野 尊信



東海キャンパス拡張事業
特設サイト



公式インスタグラム
(工事の進捗情報等を
掲載しています)

幸せの種まき

読経も写経も
功徳を求めてするというより
ありがたいという心で
取り組みましょう

お経に向かいあったその時、私達は
お釈迦さまから説法をいただいているのです
それだけで、ありがたいことですよ

大乗山 法音寺

編集後記

今月号の支院だよりでは各地で行われた釈尊
降誕会の様子がレポートされました。

『大白牛車・8 一日一言』には次のような日
達上人のお言葉があります。

楽誦 喜んでお経を読んでいますか？

お経を読むのも写経をするのも、功徳を求め
てするというより、自分がうれしいからする。
ありがたいからする、という心でしたいもので
す。それで功徳がいただけたら結構ですし、い
ただけなくても、文句を言うことではありませ
ん。お経を読むことは、その時お釈迦さまから
ご説法をいただいていることでもあるのです。
それだけで、ありがたいことなのです。

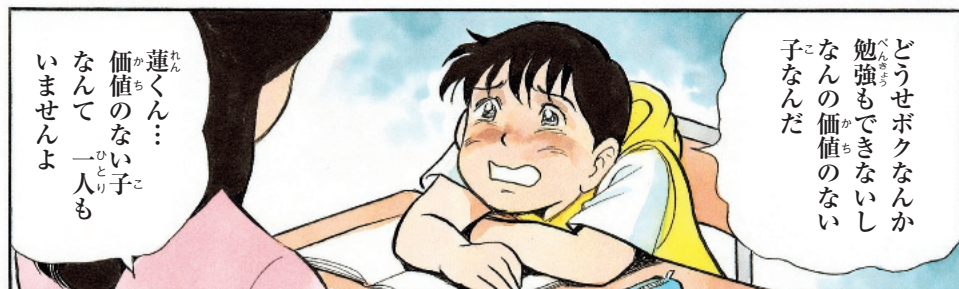
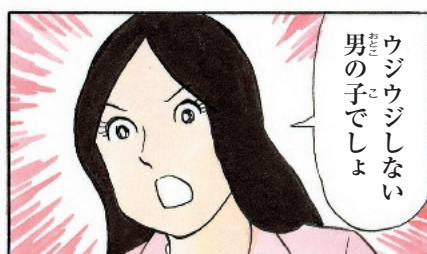
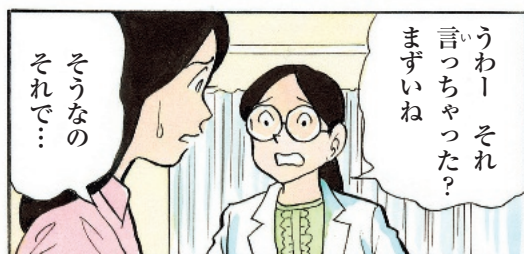
〈楽誦・序品第一〉

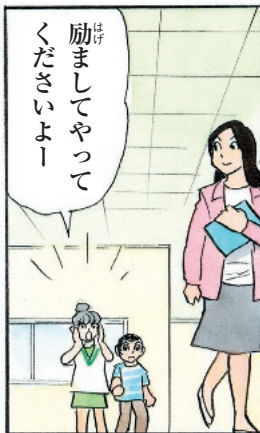
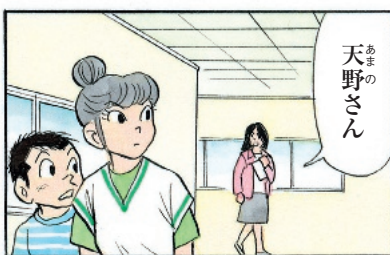
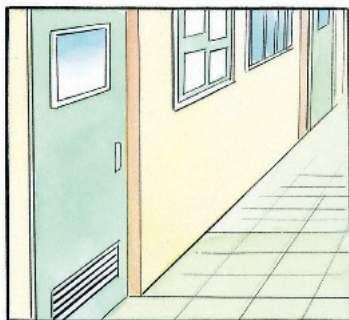
私達は問題を抱えた時や、願いを実現させた
い時に、写経しよう、と思うものです。現世利
益を求めるのは信仰の入口として人の常ではあ
りますが、私達が読経や写経をしている時、今
お釈迦さまが私に説法してくださっている、と
思うと、心からありがたく感じ、説の如く実行
することが何よりも大切に思えてくるものです。

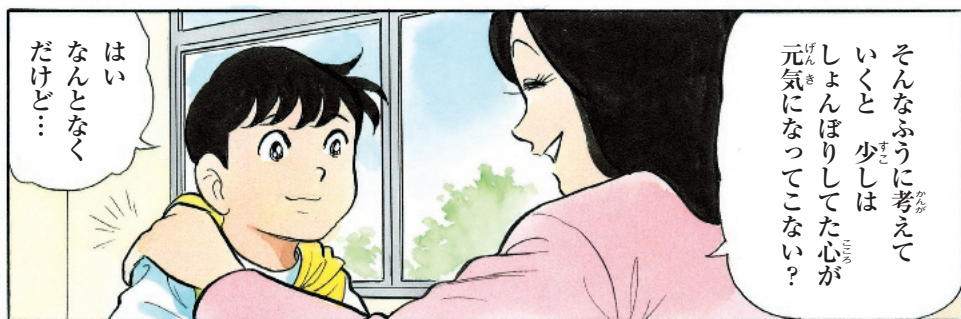
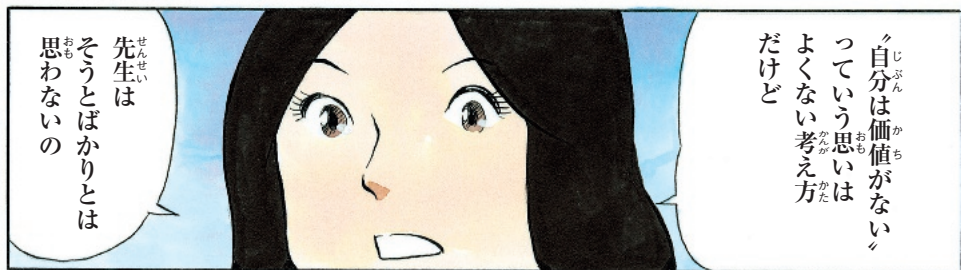
キミがいてくれて…

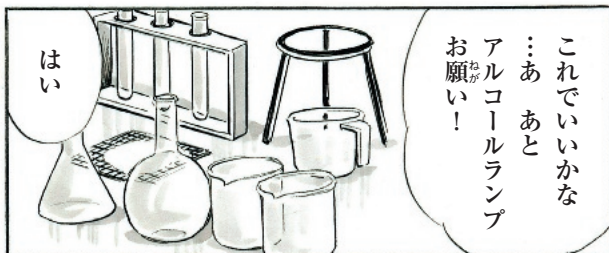
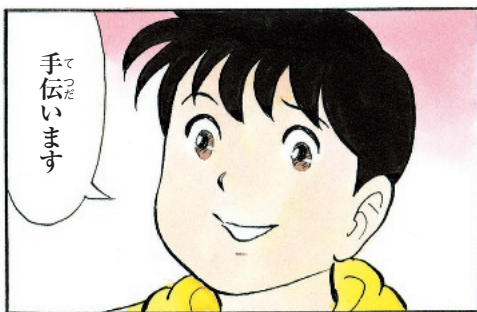
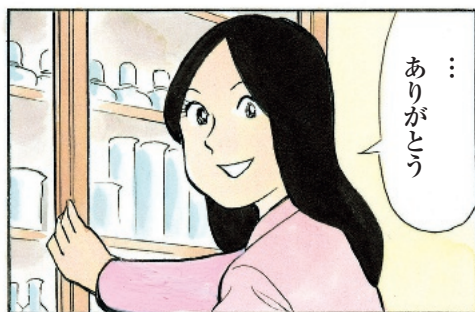
竹中 淳

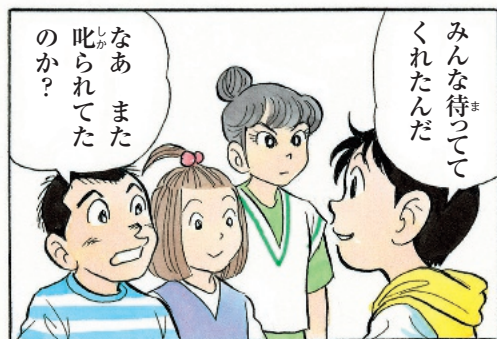
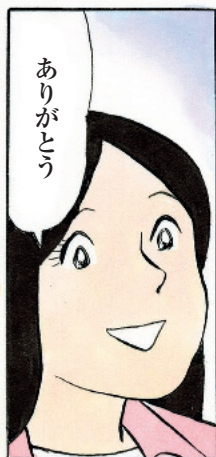
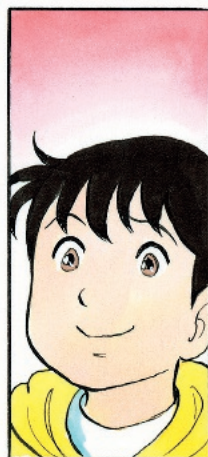


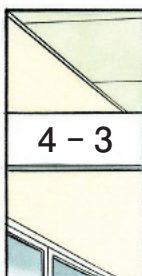












保健室

安藤先生
アドバイス
ありがとうございます
ございました

よかったわ
お役にたてて

わたし… 今日
子ども達に
教えられたことが
たくさんありました

誰だって他の誰かの役に
たいたいと思ってるのに…

大人になると
自分の都合ばかり優先して
つい消極的になっちゃう…
反省しなきゃ

そうよねえ
子ども達って
純粋なやさしさを
持つてるもんね

じゃ 行きますね
蓮くん 授業の
片づけを
手伝って
くれるんです

あー 蓮くん
先生持つよ

平気です

ありがとう

その言葉は
スキミがいてくれて
よかった… って
言われたように
聞こえた

おしまい

法音寺物語

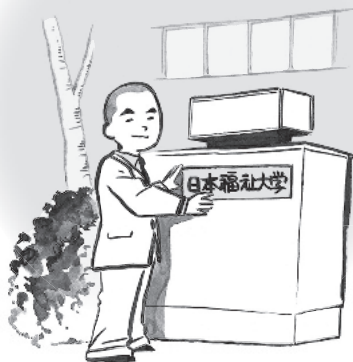
社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





悦可衆心

相手を満足させればすぐ喜びがくる
相手をいたわれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂

《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市長和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
<https://www.houonji.com> FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています



SNSでつながる法音寺



法音寺公式

facebookで

毎朝7時

『一日一言』

配信!!

こちらの
二次元バーコードから
ご覧いただけます。



毎週火曜日

法音寺メールマガジン
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらの
二次元バーコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。



YouTubeにて
法音寺チャンネル
開設中!!

[https://www.youtube.com/
user/houonjimovie](https://www.youtube.com/user/houonjimovie)

こちらの
二次元バーコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索



法音寺の社会福祉・教育事業



徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

社会福祉法人 昭 徳 会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保 育 所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10
TEL.(052)831-5171
<https://www.syoutokukai.or.jp>



学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL.(0569)87-2211
<https://www.n-fukushi.ac.jp>

